

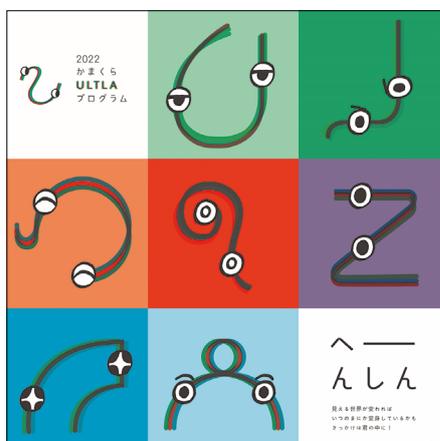
かまくらULTLAプログラム

～一人ひとりの個性や特性に応じた学びで、子どもの自立を支援～

はじめに

本市では、今後訪れる「Society 5.0」の社会に対応したスキルや学びに向かう姿勢、そしてSDGsの目標達成に向けて、子ども一人ひとりが主役となり、また、学校において主体的かつ対話的な授業を実現し、個々の能力や関心に応じた学びを提供するため、学校を持つ資源に加えて大学や企業など様々な団体と連携しながら、教師も子どももワクワクするような魅力的な学校づくりを進めています。

そうした多様な教育活動の中から、今回は令和3年度に立ち上げた「かまくらULTLA※プログラム」について紹介します。



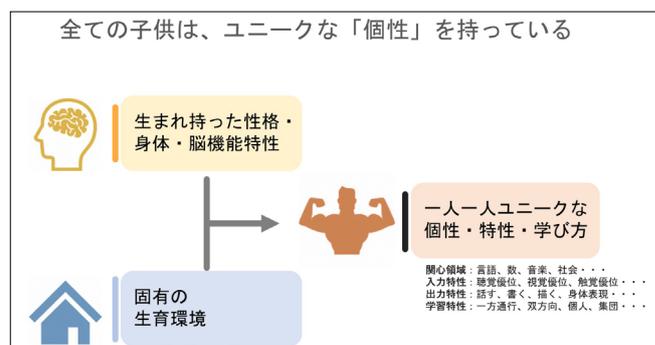
※ ULTLAは「Uniqueness Liberation Through Learning optimization and Assessment (学びの最適化と評価による個性の解放)」の略。

1. かまくらULTLAプログラムの着想

私たちは子どもも大人も、唯一無二の個性や特性を持っています。それは「学び方」についても同様で、一人ひとりに自分らしい学び方があります。活字ベースの学びが得意な子もいれば、音声ベースの学びが得意な子

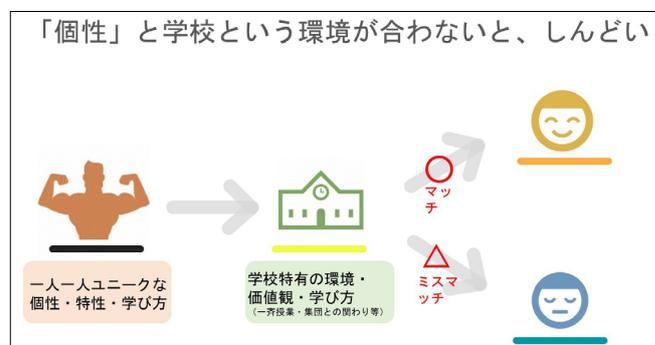
もいます。集団での学びが得意な子もいれば、個人の学びが得意な子もいます。思考スタイルも発散傾向・収束傾向と多様ですし、関心領域も様々です。

生まれ持った特性や生育環境の影響を受け、一人ひとりのユニークな学び方(認知特性・学習特性)が成長に伴って形成されていきます。学校でも、子どもたちの多様な能力や特性、興味などを引き出す「個別最適な学び」の実現に日々挑戦しています。



ユニークな個性・特性・学び方の形成イメージ

一方で、学びたい、何かやってみたいという気持ちはあるけれど、学校での学習に馴染めず、不登校あるいは休みがちになっているなど、学校に通うのがつらいと感じている子どももいます。



学び方のミスマッチが起こるイメージ

こうした子どもたちに対して、学校や教育委員会では、教育相談・学習支援など様々な取組を行ってきており、それらの取組自体は非常に大切なものですが、そもそも

学校の学びに馴染めないと思う原因となったユニークな学び方（認知特性・学習特性）に着目した支援ができていたでしょうか。まさにこれが、かまくらULTLAプログラムの出発点です。

学校に行くのがつらいと思う根っことなるような自分の特性に、劣等感や嫌悪感を抱いている子どもも多いかもしれません。しかしそんな風に思わなくても大丈夫です。そうしたユニークな学び方にこそ宝石が眠っていると思いますし、唯一無二のその人らしさが埋もれていると考えます。学校への行きづらさを抱えている子ども一人ひとりが、自分のそうしたユニークな学び方を「認識して、発揮して、ワクワクする」。そんな経験を提供することが、学校の学びに馴染めないと感じている子どもたちの将来にわたる自立・幸福の礎となるのではないのでしょうか。

このような思いから、かまくらULTLAプログラムを開発・実施することにしました。

2. かまくらULTLAプログラムの基本要素

この理念を実現するため、かまくらULTLAプログラムは大きく分けて2つの要素で構成しています。一つは「アセスメント」です。学術的な根拠に基づいて作られたアセスメント分析シート「学びのポートフォリオ」で、その人の学びの特性を言語化していきます。

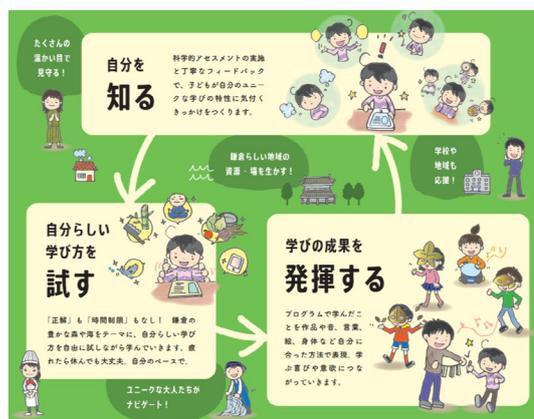


「学びのポートフォリオ」（株式会社SPACE提供）

しかし、特性の分析シートを受け取ったからといって、それだけでパッと人生が変わるわけではありません。自

分らしい学びを「試す」場所、すなわち「探究プログラム」があわせて必要です。素敵な環境、ゆったりとした時間、安心してチャレンジできる「正解のない」学びの環境の中で、アセスメントの結果をヒントにしながら、自分の心が動く方向にじっくり学んでいく機会を提供します。

かまくらULTLAプログラムでは、アセスメントなどを通じて自分の個性や特性を自ら把握しながら、それを生かして探究的な学習に取り組み、好奇心や情熱をカタチにすることに喜びを感じ、自信と意欲をもって学びに向かうことができる力を育むことを目指しています。



「かまくらULTLAプログラム」とは

探究プログラムは「正解」に向かってではなく、「自分の心のコンパス」を頼りに、自身の特性や興味関心を生かして自分らしい学びに没頭できるよう、デザインしています。

なお、かまくらULTLAプログラムに参加できるのは、学校における学習に馴染めず、学校に通うのがつらいと感じている市立小中学校に通う小学4年生から中学3年生の児童生徒で、個々のプログラムへの参加を希望する場合は、特設ウェブサイトでユーザー登録後、テーマごとに申し込める仕組みになっています。



親しみやすい特設ウェブサイト

3. 令和3年度の取組

(1) プログラムについて

令和3年度は、鎌倉という地域特性を活かした題材や資源を活用し、「海」と「森」をテーマにプログラムを実施しました。

令和3年度に実施したプログラム		
プログラム名	日時	プログラム内容
海 のプログラム 専門家によるワークショップ、地引網体験や地元漁師の話などを通して、海や海藻・魚などの生き物の多様性や命を感じ、「生きる」を考える	1日目 2021年 11/12(金)	<ul style="list-style-type: none"> 君もULTLA ー自分学入門ー 十魚十色！ギョッとする魚たち 商店街で魚を探せ！ いざ、海の世界へ！知られざる海藻たちの正体
	2日目 11/13(土)	<ul style="list-style-type: none"> 魚と人間の力比べ！ 命のバトンを繋ぐ漁師のまかない 「赤司」を宇宙に届けるテクノロジー 魚デザイン！魚をまつるシャリ型を作ろう
	3日目 11/20(土)	<ul style="list-style-type: none"> 海の命のセレモニーを開催！
森 のプログラム リズムをテーマにした身体運動、竹を使った楽器作りと演奏などを通して、目には見えない身体・心・自然の変化を探究する	1日目 10/27(水)	<ul style="list-style-type: none"> 君もULTLA ー自分学入門ー 腫がたったり、ずわたりするのはなぜ？ もどき料理を味わいつくせ ネコにも、忍者にも変身！
	2日目 10/28(木)	<ul style="list-style-type: none"> タヌキ以上に、竹が化ける！ 一汁一菜、粗食のスヌメ 竹楽器を作ろう
	3日目 12/11(土)	<ul style="list-style-type: none"> ZEN映画祭、開催！

プログラムの内容

プログラムでは、様々な切り口で、漁師や僧侶、シェフなど普段学校の教室にはいない人々、通称「ULTLA ナビゲーター」と共にまちに出たり、少しマニアックなことに取り組んだりする中で、学んだことを作品や音、言葉、絵、身体など自分に合った方法で表現し、学ぶ喜びや意欲につながりました。

参加者は、ユーザー登録者31名中、「森」は15名（小学生10名、中学生5名）、「海」は15名（小学生12名、中学生3名）でした。



森のプログラムの様子



海のプログラムの様子

(2) ULTLA インパクトデイの実施

かまくら ULTLA プログラムの趣旨やプログラム当日の様子を多くの方々と共有するとともに、子どもたちがプログラムでの学びを振り返ることで新たな一歩を踏み出すきっかけを生み出すなど、子どもにも大人にも「インパクト」を与える機会としたいという思いから、令和4年3月に開催しました。

当日は、参加者や保護者、学校関係者などが集まり、子どもの探究レポートの発表、ULTLA ナビゲーターからのメッセージ、ゲストを呼んでのセンパイトーク、座談会の他、プログラムで制作した参加者の作品展示なども行い、全員で振り返りと、新しい一歩への歩みを進めました。



4. 令和3年度の取組成果

プログラム参加者にアンケートを実施し、5段階評価を行ってもらったところ、「心のエネルギーが充電されたか」の問いに75%、「自分らしい学びが見つかった」の問いに72%が「そう思う」「ややそう思う」と答え、また、参加者からは「日常生活に繋がることが学べた」「知らない大人やほかの学校の人と仲良くなって楽しかった」等の声がありました。保護者アンケートでは、かまくらULTLAプログラムに参加したことにより「笑顔が増えた」「意欲が向上した」「自信がついたようで、登校が再開した」等、子どもに変化があったとの回答が92%に上りました。

令和4年度は、かまくらULTLAプログラム以外の場合でも自分らしい学び方を捉える機会や自分に合った興味関心領域に出会える機会を子どもたちに提供するため、令和4年10月20日には一般財団法人ルートこどもみらい財団と株式会社SPACEと本市教育委員会の三者で「多様な学びの場の構築に向けた包括連携協定」を締結し、オンラインプログラムの活用と情報連携の取組を開始しま

した。

また、かまくら ULTLA プログラムでの学びの成果を子どもたちが所属する学校において指導や関わり方に活かせるよう、学校との連携もさらに進めていく予定です。

おわりに

かまくら ULTLA プログラムの取組は始まったばかりです。我々も日々試行錯誤の連続で、まさに「へーんしん」の真っ只中ですが、この取組が子どもたちの可能性を開花させるきっかけとなり、自信と意欲をもって未来の社会で活躍できる一助となるならば、こんなに嬉しいことはありません。

皆さんもぜひ一度、ULTLAの世界をのぞいてみてください!

【参考】

[かまくら ULTLA プログラム特設ウェブサイト](#)



[鎌倉市教育委員会 note](#)

(プログラムの様子をはじめ、教育委員会の様々な取組を紹介しています。)

